

実施状況…A.実施した B.検討したが実施に至らなかった C.検討も実施もしなかった D.廃止した  
 計画の達成状況…a.計画通りに達成できた b.ほぼ計画通りに達成できた c.計画には及ばなかった

NO.1

平成27年度		自己点検 評価項目	幼保連携型認定こども園 長坂保育園	実施 状況 A	達成 状況 a
<b>I 福祉サービスの基本方針と組織</b>					
1	○理念が明文化されている			A	a
コメント	教育・保育理念を掲げ、教育・保育課程にも記載し、ホームページやパンフレットにも載せている。				
2	○理念や基本方針がを職員に周知されている			A	b
コメント	マニュアルに明記し、職員にも配布し、会議やミーティングで確認する機会を設けている。個人の意識を高めていく。				
3	○理念や基本方針が利用者等に周知されている			A	a
コメント	「入園のしおり」「パンフレット」に記載し説明したり、『教育・保育課程』を年度初めに保護者に配布している。				
4	○施設長自らの役割と責任を職員に対して表明している			A	a
コメント	会議等で施設長としての方針・考えを伝えると共に、地域の子育て支援等に積極的に取り組み、地域に社会貢献している。				
5	○遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている			A	a
コメント	研修などに参加して理解を深め、会議等で伝達している。				
<b>II 組織の運営管理</b>					
6	○職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている			A	a
コメント	不都合な点は話し合い、勤務の時間や人数など、状況に応じて改善などを行っている。				
7	○職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている			A	a
コメント	全員有資格者で、質の向上・専門性を高めるための研修に参加し、報告や伝達を行っている。				
8	○個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている			A	b
コメント	研修計画がある。また希望をとり、自分が学びたい研修に参加しやすい体制をとっている。園内研修を充実させていきたい。				
9	○定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている			A	a
コメント	研修参加者は復命書を提出し、園内研修等で報告している。				
10	○実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している			A	a
コメント	マニュアルに明記。担当者も決められ、全職員の理解のもとに受け入れ、事前の打ち合わせや指導を行っている。				
11	○実習生の育成について積極的な取り組みを行っている			A	a
コメント	実習生の意向を入れながら実習計画を作成し、保育士としての基本姿勢や技術が学べるよう配慮している。 責任実習なども行い、その後反省会をして、園全体でアドバイスをしている。(今年度 八戸短大2名)				
12	○民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取組を行っている			A	a
コメント	地域の「ごみゼロ運動」「あいさつ運動」「ふれあい夏祭り」「柿の木苑祭」に参加し貢献している。 また、地域の民生委員の方が「ふれあい広場」に参加し、一緒に伝承遊びをしたり子育て相談に答えていた。				
13	○近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼する等の配慮をしている			A	a
コメント	年2回の総合避難訓練では、近田会計事務所職員の避難誘導の協力を得ている。 地域の方が畑の作業に協力してくれた。				
14	○中高生などの保育体験を受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解され、受入れの担当者も決められている			A	a
コメント	マニュアルに明記。職員の共通理解のもとに受け入れ、担当は主幹保育教諭が行っている。 (H27、8月八戸西高等学校生1名、8月会津短大生1名、9月百石高等学校生1名、10月根城中学校生5名の受け入れ)				

	評価項目	NO.2	実施状況	達成状況
15	○育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている		A	a
コメント	一時預かり、子育て支援の「ふれあい広場」、園庭やねっころム開放を通して、相談に応じる等、育児支援を行っている。			
16	○ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している		A	a
コメント	マニュアルに明記し、担当は主幹保育教諭が行っている。(H27年10月東北福祉大学生2名)			
17	○認定こども園の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、職員が共有している		A	a
コメント	連絡先等マニュアルに明記している。情報があつた場合は会議などで伝達し、共有している。地域の避難訓練(根城の広場、根城地区)に参加したり、どんと祭に参加したりした。			
18	○園児の健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている		A	a
コメント	嘱託医がおり、年2回の健診時に相談に応じてもらっている。			
19	○育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている		A	a
コメント	体制になっている。			
20	○小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。		A	a
コメント	各小学校職員と相談会を行い、就学がスムーズにいくよう配慮している。「幼保小連携会議」に参加し情報交換をした。江南小学校で、年長・年中児(数名)が運動会に参加。根城小学校では音楽会の練習を見学や、交流学習会を行い、スムーズな就学への取り組みを行っている。			
<b>Ⅲ適切なサービスの実施</b>				
21	○利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している		A	b
コメント	マニュアルがあり、会議でも確認を行った。一人一人の意識がまだ足りないので、引きつずき確認を行う。			
22	○利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している		A	a
コメント	保育参加日・クラス懇談会・給食試食会など、意見や要望を伝えられる機会を設けている。また、朝夕の送り迎え時や、連絡ノートを通して情報交換を行っている。12月にアンケートを取り、改善に向けての話し合いや取り組みを行った。			
23	○利用者満足の向上にむけた取り組みを行っている		A	a
コメント	保育参加日・クラス懇談会・給食試食会など、意見や要望を伝えられる機会を設け、必要に応じて改善している。父母の会役員会で、行事の反省を含め、保育についての意見や要望を聞く機会を設けている。			
24	○苦情解決の仕組みが十分に周知され、機能している		A	a
コメント	苦情解決についての資料を、入園のしおりに添付し、玄関にも掲示している。また意見箱を設置している。受付担当者は園長代理、酢刊保育教諭である。伝えてはいるが、まだ知らない保護者もいるので繰り返し伝えていく。			
25	○利用者からの意見等に対して迅速に対応している		A	a
コメント	マニュアルに明記。意見があつた場合は園長・園長代理・副園長に報告し、その都度対応している。			
26	○保育の質の向上や改善のための取組みを職員参加により行っている		A	b
コメント	毎月、職員会議・ワークミーティング・チームごとのミーティング等で意見や提案を聞く機会を設けている。会議では一人一人がもっと意見を出し合えるようにしていきたい。			
27	○保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている		A	a
コメント	職員会議・ワークミーティングなどにおいて、月ごとの評価や行事での反省や見直しを行い、不都合な点を話し合い、必要に応じて改善し、保育に反映させている。1年間を振り返っての自己評価を行っている。			
28	○利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている		A	b
コメント	園児の状況が児童票・カリキュラム・見守るソフトに記載されている。、気になる子中心の話し合いになってしまったので、一人一人に目を向けていきたい。			

	評 価 項 目	NO.3	実施 状況	達成 状況
	○利用者に関する記録の管理体制が確立している		A	b
コメント	守秘義務の遵守を職員に周知し、児童票などの重要書類は園長が鍵をかけて保管している。パソコンのデータを個人のUSBに保管している事があったので、共有のデータに保存徹底するようしていきたい。			
	○利用者の状況に関する情報を職員間で共有している		A	a
コメント	一人一人の家庭状況、子どもの発達状況、個人目標、保育について、会議やミーティング等で話し合う機会を設けている。話し合った情報はミーティング録を見られるようにしている。その日の伝達事項は早番(朝礼)で伝え、遅番の職員にも伝える体制を整えている。			
	○情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている		A	a
コメント	園だより、連絡帳、献立表、玄関の貼り紙、かわら版、写真、ホームページ等で情報提供している。			
	○入所にあたり、利用者等にわかりやすく説明している		A	a
コメント	実際に施設や園児などの様子を見学してもらっている。またパンフレットや写真、一日の流れ、かわら版、園だよりや献立表等を見ながら、丁寧に説明している。			
	○一人一人の園児の発達状況に配慮した指導計画となっている		A	a
コメント	話し合いながら0~2歳児は、発達状況に配慮しながら個別計画を立てている。3歳以上児も個人目標を作成している。			
<b>IV子どもの発達援助</b>				
	○教育・保育計画が、園の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている		A	a
コメント	基本方針に基づき、年間計画を作成し保護者にも配布している。地域の行事にも参加している。			
	○指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している		A	a
コメント	毎月、ワークミーティングでチェックを行い、ミーティング等で問題点について話し合っている。			
	○登所時や在園中の園児の健康管理は、マニュアル等があり園児一人一人の発育・発達状況健康状態に応じて実施している		A	b
コメント	登園時に、一人一人の様子を「健康チェック表」に記入。朝、確認が不十分なことがあったので、担当を決めるなど、見逃しの無いようにしていく。看護師が与薬の確認をしたり、必要に応じて検温を行っている。			
	○健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを教育・保育に反映させている		A	a
コメント	用紙に結果を記載し、連絡ノートに貼り付けて保護者に伝えている。異常があった場合は、会議などで伝え共通理解のもとに配慮している。(脱臼、熱性けいれん等)また、看護師が「保健だより」を通して予防対策等を伝えている。			
	○歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを教育・保育に反映させている		A	a
コメント	用紙に結果を記載し、連絡ノートに貼り付け保護者に伝え受診を促すと共に、「保健だより」に全体の虫歯の状況を記載している。			
	○感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している		A	a
コメント	マニュアルがある。随時、看護師から発症状況・病気の内容・予防・配慮事項を伝えている。保護者へも玄関やホームページで伝えている。マニュアルは全職員が周知出来るよう、回覧してのチェックなどしていきたい。			
	○食事を楽しむことができる工夫をしている		A	b
コメント	セミバイキング方式の給食で、個人差や体調、食欲に応じて量を加減したり、配膳や後片付けも自分で行ったり園児が参加している。食育の大切さを伝え、畑での野菜作りやクッキングに取り組んだり、戸外で食べる機会を設けている。食育目標を掲示し、食事のマナーがより身に付くように工夫していく。食材に関する話を定期的にするなどしていきたい。			
	○園児の喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に生かしている		A	a
コメント	栄養士や調理員が園児と一緒に配膳をしたり食事をし、食べる量や好き嫌い等を把握して献立や調理に活かしている。手作りおやつを心がけ、旬の物や行事食を取り入れている。また、残食記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映させている。月1回給食懇談を行い職員間で情報交換を行っている。地産地消を心がけ、様々な県の郷土料理や世界の料理を取り入れるなど工夫している。毎日の給食の写真を掲示している。献立表に栄養バランスの「家庭でのポイント」を記載している。給食試食会(レシピ配布)を行い、食育の大切さを伝えたり、家庭での様子を聞いて保育に活かしている。体調不良の際は、おかゆやお茶で対応している。			

評 価 項 目		NO.4	実施 状況	達成 状況
42	○園児の食生活を充実させるために、家庭と連携している		A	a
	年に1回、クラス毎の給食試食会や送迎時等、家庭での様子や園での様子を話し情報交換を行っている。			
43	○アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている		A	a
コメント	保護者との連携のもとに、除去食(卵アレルギー等)に対応し、除去食の献立表を配布している。検査結果を伝えてもらい共通理解で進めている。食器に印を付け、お盆の色を変えるなどしていたが間違えてしまう事があったので、より注意していく。			
44	○子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している		A	b
コメント	園児の発達や興味に応じて環境を整えている。衛生面において、消毒や掃除などもこまめに行うべきだった。また、整理整頓もきちんとしていきたい。トイレが汚れやすかったので、気付いた時に掃除するようにしていきたい。			
45	○生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている		A	b
コメント	未満児はなかなか自然物を取り入れた製作が出来なかったため、以上児と一緒に作るなどして工夫していきたい。園児作品を多く掲示するなど、環境の工夫などもっと努力していく。声の大きさなど、より気を付けていく。			
46	○子ども一人一人の理解を深め、受容しようと努めている		A	b
コメント	受容しようと努めているが、優しい気持ちで穏やかな対応と気配りが足りなかったため、一人一人が心がけ、言葉遣い等気を付けていきたい。			
47	○基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している		A	a
コメント	体調により午睡をするなどしている。個々の状況に応じた、より優しい対応を心がける。眠くない子への配慮をもっとしていく。			
48	○子どもが自発的に活動できる環境が整備されている		A	b
コメント	コーナーの担当者が決められているが、園児の興味に応じた働き掛けの工夫や見直し、改善がより必要。			
49	○身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。		A	a
コメント	天気の良い日は散歩に出かけ、積極的に自然と関わっている。野菜作りや自然物を取り入れた製作などを行っている。伝統行事・えんぶり鑑賞・博物館見学・公共施設の利用・「あいさつ運動」「ごみゼロ運動」等、地域と関わっている。観察コーナーを作ったが興味を持つ子と、関心のない子がいたので、全体に興味を持たせる工夫をしていきたい。			
50	○さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている		A	b
コメント	環境を整え配慮しているが、自由に楽器を使い表現できる工夫をしていく。(活動の一つに取り入れる)			
51	○遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している		A	b
コメント	異年齢児保育を行い、当番活動も異年齢で行っている。毎週土曜日は、年長・年中児が3歳未満児クラスにお手伝い保育に入っている。未満児と以上児の交流の機会をもっと増やしていきたい。			
52	○子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している		A	b
コメント	テーマが世界だったが、文化の違いについての取り組みが深められなかった。配慮しているが、尊重する心がまだ足りない子がいる。			
53	○性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している		A	a
コメント	性差、子どもの発想、態度、言葉、服装、遊び方、職業、育児、家事など固定的な対応をしていない。			
54	○乳児保育のための環境が整備され、教育・保育の内容や方法に配慮がみられる		A	a
コメント	低月齢児用のスペースや園児の発達に合わせた保育を行っている。離乳食は家庭と連携をとりながら進めている。保育教諭や育児経験者、看護師が担当し「安心、安全の保育」を心がけている。また、救急法の研修に参加し「SIDS」を周知し、睡眠時のチェック表を付けている。			
55	○長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる		A	a
コメント	異年齢で遊ぶなど、保育の内容や方法に配慮し、園児が気持ちよく過ごせるよう環境を整えている。遅番の伝達ノートで前日の様子を伝えるなど保育に活用している。			

評 価 項 目		NO.5	実施 状況	達成 状況
56	○障がい児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる		A	c
コメント	21トリソミー(ダウン症)1名、自閉症1名。個人の記録を取り、配慮しながら保育を進めているが、園全体での話し合いや計画を立てるなどして、取り組む工夫が必要。			
<b>V 子育て支援</b>				
57	○一人一人の保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている		A	b
コメント	クラス懇談会や給食試食会など情報交換の場を設けている。個別面談は行っていないが、送迎の際の対話など心掛けている。「見守るソフト」による成長発達状況(保育カルテ)を、懇談会で説明をしながら保護者に配布している。			
58	○家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。		A	a
コメント	児童票・見守るソフト等に記載している。また、相談内容は「相談記録」に記載し会議で共有している。			
59	○園児の発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている		A	a
コメント	クラス懇談会、給食試食会、参加日等の機会を設けている。自由参加日は、参加しやすいように4日間設けている。			
60	○虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている		A	a
コメント	平成27年度、虐待と思われる児童無し。朝の健康観察・午睡時の着替え・おむつ交換の際に、体のチェックを行っている。午睡がなくなるクラスは、身長体重を測る時などに、より注意して体の確認をしていく。			
61	○虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について児童相談所などの関係機関照会 通告体制が整っている		A	a
コメント	体制が整っている。			
62	○一時預かりは一人一人の子どもの心身の状態を考慮し通常保育との関連を配慮しながら行っている		A	b
コメント	子育て経験のある保育教諭2名以上が担当し、子どもの状態に応じて通常保育の園児と交流したり、散歩や行事に参加している。保護者とのコミュニケーションを取りながら相談にも応じている。複写式の連絡ノートを作成し、記録を保管している。保育環境の見直しと、通常保育との連携や協力体制をよりとっていく。			
<b>VI 安全・事故防止</b>				
63	○調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。		A	a
コメント	マニュアルがあり、調理場は常に清潔に保っている。クラスや外等の水回りの掃除を丁寧にしていきたい。			
64	○食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応については、全職員にも周知されている		A	b
コメント	マニュアルがあり、会議で調理師による確認を行い、研修の報告も行った。一人一人が意識し確認していきたい。			
65	○事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている		A	a
コメント	事故記録簿をつけ、月1回 ワークミーティングで話し合いの場を設けて事故防止に努めている。 月1回 園内外・遊具の安全点検チェックを行っている。(安全点検表) 事故防止委員が毎月散歩コースの確認を行い、危険箇所を会議で伝えていた。一人一人が危機管理の意識を高めていきたい。			
66	○事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている		A	a
コメント	月1回、避難訓練を行ない、模擬通報訓練、模擬初期消火を行っている。総合避難訓練は年2回、消防署の協力のもと行っている。緊急時の職員の連絡網がある。一人一人が意識し確認していきたい。			
67	○不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。		A	b
コメント	マニュアルがあり、訓練を行っている。全職員が周知出来る体制が必要。(回覧してのチェックなど)			

## (改善できる点や改善方法)

- 0歳：・自然物(木の枝や木の実等)を取り入れた活動が少なかったので、以上児と協力して製作するなど工夫していきたい。
- ・パートの職員もマニュアルを確認する機会を作っていく。
  - ・障害に対する情報を収集し、障害児の計画を立て、内容を確認する機会を会議などでつくる。
  - ・畑に触れる機会が少なかったので、成長や収穫に興味を持てるよう触れる機会を増やす。
- 1歳：・衛生面で行き届かない点があったので、水回りやトイレ、玩具の消毒をこまめに行う。
- ・マニュアルの確認を園内研修とミーティングの両方で行い、みんなが確認できるようにしていく。
  - ・パートの職員も含めて個人目標などについて話し合い、立てていく。
  - ・0. 1. 支援での連携をもっと密にしていきたい。
- 2歳児 ・報告・連絡・相談を徹底する。
- ・一人一人が責任感を強く持ち、保育教諭としての意識を高めていく。
- 3・4・5歳：・勝手な判断で対応してしまう事や確認のミスがあった。チーム保育だが担当が知らないこともあったので、職員同士でその都度確認し合うようにする。大事な書類は手渡しするなど、複数で確認できるようにする。
- ・禁止語や静止語をあまり使わないようにしていたが、使ってしまった。意識を高め、リーダーだけが対応するのではなく、サブがきちんとサポートしていく。
  - ・天井飾りなど、園児の作品をもっと飾るようにしていく。
- 一時・子育て支援：・ふれあい広場のある日の一時預かりを、各クラスと連携できるよう、事前に報告し、確認し合うようにする。
- ・人数や活動内容、発達段階に合わせて、スペースを広げたりその都度配置を変えたりとコーナーの見直しをしていく。
  - ・障害児保育について。担当を決め研修に参加するなどして、その子に合った指導計画が立てられたら良いと思う。
- 給食：・給食の時間帯での食育の話が出来なかったので、また始めたい。月に1, 2回別の日を設け食育指導や食事のマナーについて教えていきたい。
- ・献立表の他に2か月に1回「給食通信」を発行していきたい。
  - 内容「時短レシピ」「おやつレシピ」「旬の食材」「マナー」など色々伝えていきたい。

平成 28 年 2 月 15・16・19日に職員参加で実施した。

平成 28年 2 月 29日

記録：若江 真瞳花（主幹保育教諭）